

平成30年度ごみ処理実績表

1 平成30年度ごみ処理実績表

人口・世帯数比較表（対前年度比）

	平成30年度	平成29年度	増減	対前年度比
人口（人）	604,675	601,055	3,620	100.6%
世帯数（世帯）	286,887	281,681	5,206	101.8%

※各年度3月31日現在

ごみ発生量比較表（対前年度比）

	平成30年度(t)	平成29年度(t)	増減(t)	対前年度比
排出量	182,207	182,598	-391	99.8%
排出量（集団資源回収を除く）	169,803	169,597	206	100.1%
一般ごみ	144,593	145,082	-489	99.7%
粗大ごみ	6,529	6,044	485	108.0%
資源物	18,590	18,386	204	101.1%
びん	3,456	3,614	-158	95.6%
飲料かん	1,359	1,372	-13	99.1%
金属類	1,407	1,353	54	104.0%
ペットボトル	2,133	2,001	132	106.6%
繊維類	1,851	1,833	18	101.0%
紙類	5,027	4,902	125	102.6%
プラスチック製容器包装	3,357	3,311	46	101.4%
乾電池	76	61	15	124.6%
有害ごみ（蛍光管）	12	11	1	109.1%
集団資源回収	12,404	13,001	-597	95.4%
災害廃棄物	3	13	-10	23.1%

家庭系・事業系別排出量比較表（対前年度比）

	平成30年度(t)	平成29年度(t)	増減(t)	対前年度比
家庭系	125,017	124,069	948	100.8%
一般ごみ	99,893	99,642	251	100.3%
粗大ごみ	6,467	5,991	476	107.9%
資源物	18,569	18,364	205	101.1%
乾電池	76	61	15	124.6%
有害ごみ（蛍光管等）	12	11	1	109.1%
事業系	44,783	45,515	-732	98.4%
一般ごみ	44,700	45,440	-740	98.4%
粗大ごみ	62	53	9	117.0%
資源物	21	22	-1	95.5%

中間処理量比較表（対前年度比）

	平成30年度(t)	平成29年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却処理	151,692	151,512	180	100.1%
破砕処理	4,937	4,672	265	105.7%
資源化処理	18,593	18,389	204	101.1%

最終処分量比較表（対前年度比）

	平成30年度(t)	平成29年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却残渣	6,575	6,819	-244	96.4%
資源化物	28,678	28,424	254	100.9%
処理困難物	131	117	14	112.0%

※ 令和4年度を目標年度とする最終処分量（焼却残渣物）の目標は4,800 t

資源化物比較表（対前年度比）

	平成30年度(t)	平成29年度(t)	増減(t)	対前年度比
資源化物	28,678	28,424	254	100.9%
焼却残渣金属	731	653	78	111.9%
未酸化鉄	707	750	-43	94.3%
未酸化アルミ	60	63	-3	95.2%
溶融スラグ	7,537	7,896	-359	95.5%
焼却残渣物（セメント資源・路盤材資源）	1,663	1,094	569	152.0%
再生粗大ごみ	9	10	-1	90.0%
破砕前金属	232	176	56	131.8%
破砕後金属	792	766	26	103.4%
破砕前アルミ屑	34	31	3	109.7%
破砕後アルミ屑	24	19	5	126.3%
びん	3,368	3,519	-151	95.7%
飲料かん	1,116	1,129	-13	98.8%
金属類	1,043	1,026	17	101.7%
繊維類	1,379	1,311	68	105.2%
ペットボトル	1,818	1,713	105	106.1%
紙類	4,907	4,779	128	102.7%
プラスチック製容器包装	2,779	2,982	-203	93.2%
特定家庭用機器	9	8	1	112.5%
小型家電	382	427	-45	89.5%
乾電池	76	61	15	124.6%
二次電池	0	0	0	—
蛍光灯	12	11	1	109.1%

1人・1世帯あたり排出量比較表（対前年度比）

	平成30年度(g)	平成29年度(g)	増減(g)	対前年度比
1人1日あたり	826	832	-6	99.3%
1世帯1日あたり	1,740	1,776	-36	98.0%

※ 1人（1世帯）1日あたり排出量＝排出量÷年度末人口（世帯）÷365日

※ 令和4年度を目標年度とする市民1人1日あたりのごみ排出量目標は844 g

資源化率及びリサイクル率比較表（対前年度比）

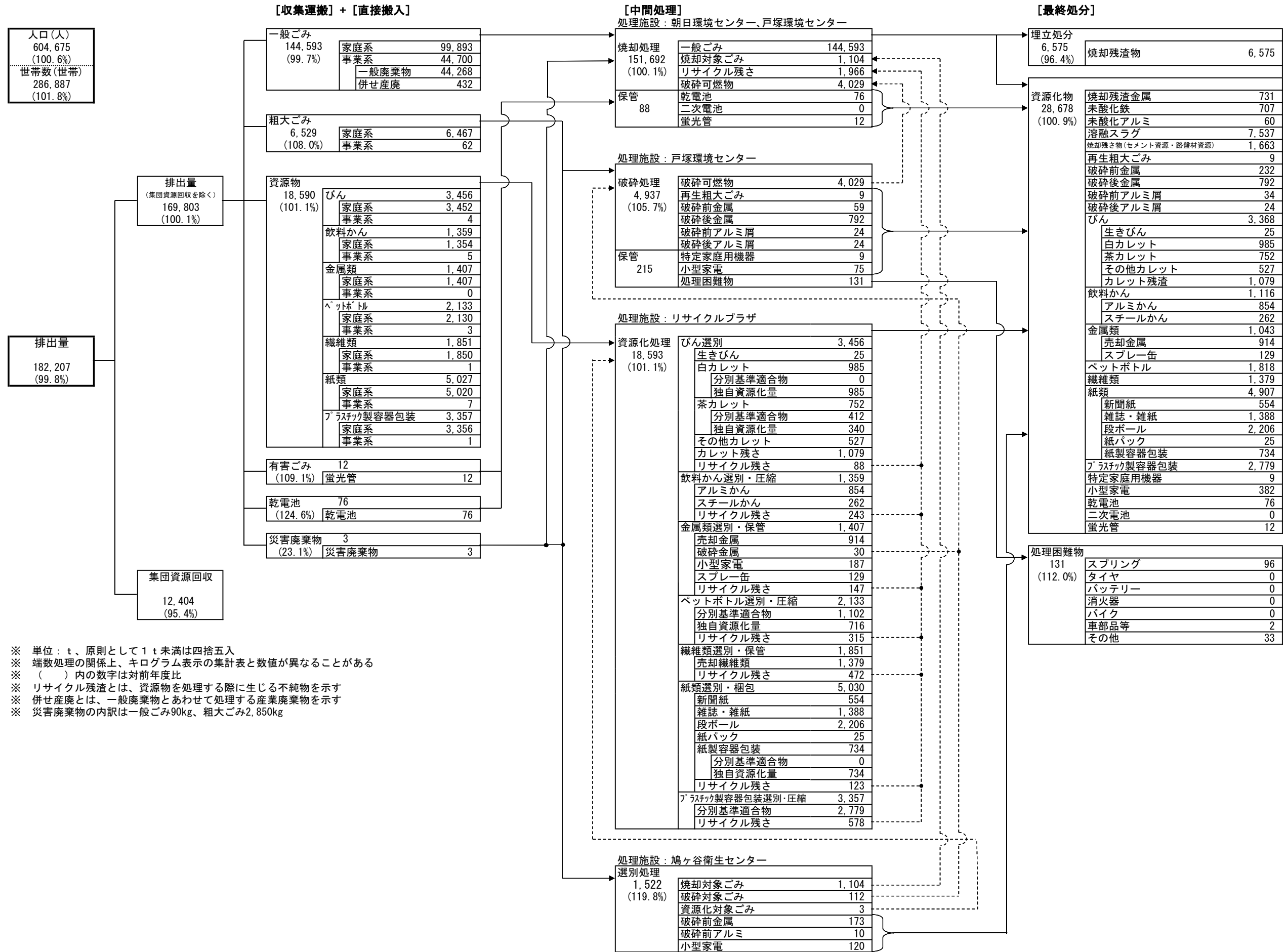
	平成30年度(g)	平成29年度(g)	増減(%)	対前年度比
資源化率(%)	16.9%	16.8%	0.1	100.6%
リサイクル率(%)	22.5%	22.7%	-0.2	99.1%

※ 資源化率(%)＝資源化物÷排出量（集団資源回収を除く）×100

※ リサイクル率(%)＝（資源化物＋集団資源回収）÷排出量×100

※ 令和4年度を目標年度とするリサイクル率の目標は35.0%

2 平成30年度ごみ処理実績フローシート



※ 単位：t、原則として1t未満は四捨五入
 ※ 端数処理の関係上、キログラム表示の集計表と数値が異なることがある
 ※ () 内の数字は対前年度比
 ※ リサイクル残渣とは、資源物を処理する際に生じる不純物を示す
 ※ 併せ産廃とは、一般廃棄物とあわせて処理する産業廃棄物を示す
 ※ 災害廃棄物の内訳は一般ごみ90kg、粗大ごみ2,850kg

3 廃棄物の排出状況について

(1) 排出量の推移

「排出量」とは、市が収集したごみの量、市のごみ処理施設に直接搬入されたごみの量、および集団資源回収で資源化された紙類・繊維類の量の合計であり、本市の一般廃棄物の総量（併せて処理する産業廃棄物を含む）である。

平成30年度は、対前年度比391t(0.2%)減少した。

図1 排出量の推移

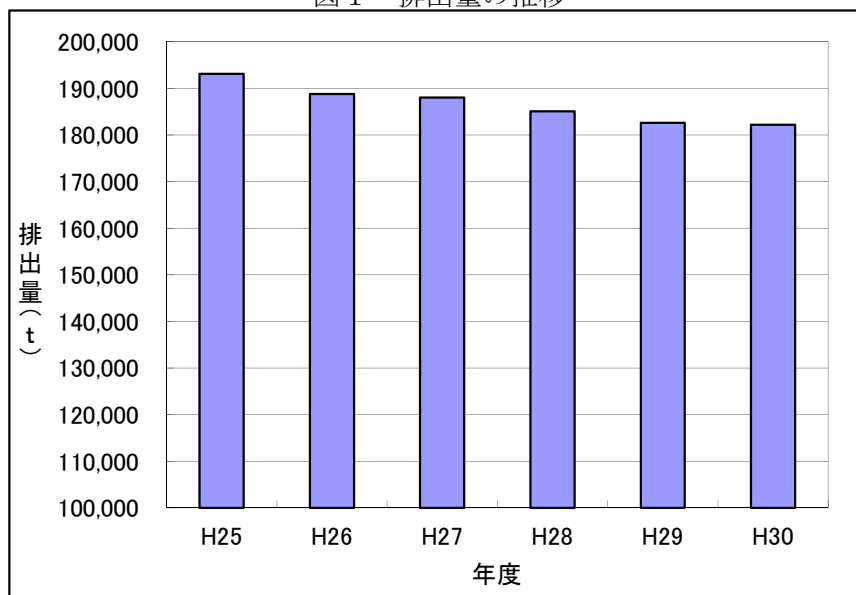


表1 排出量の推移

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
排 出 量	193,109	188,817	188,023	185,062	182,598	182,207
	-	97.8%	99.6%	98.4%	98.7%	99.8%

【下段は、対前年度比率】

※25年度2 t、26年度1 t、29年度13 t、30年度3 t の災害廃棄物を含む。

(2) 排出量（集団資源回収量除く）の推移

「排出量（集団資源回収量除く）」とは、排出量から集団資源回収量を除いた量である。

平成30年度は、対前年度206 t(0.1%)増加した。

図2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

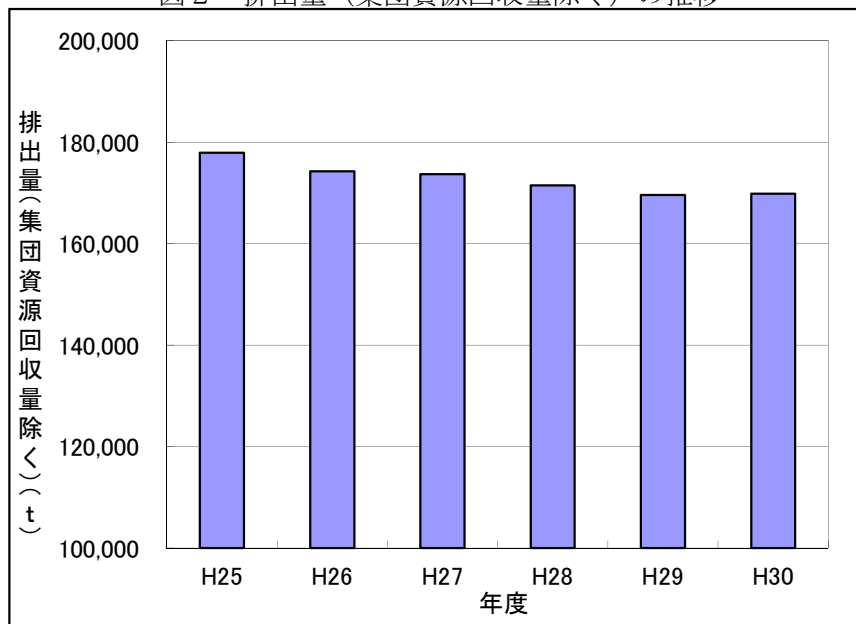


表2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
排 出 量 (集団資源回収量除く)	177,900	174,236	173,693	171,432	169,597	169,803
	-	97.9%	99.7%	98.7%	98.9%	100.1%

【下段は、対前年度比率】

※25年度2 t、26年度1 t、29年度13 t、30年度3 t の災害廃棄物を含む。

(3) 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

平成30年度の家庭系一般廃棄物排出量（集団資源回収量除く）は、対前年度比948 t (0.8%)増加した。

事業系一般廃棄物の排出量は、対前年度比732 t (1.6%)減少した。

図3 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

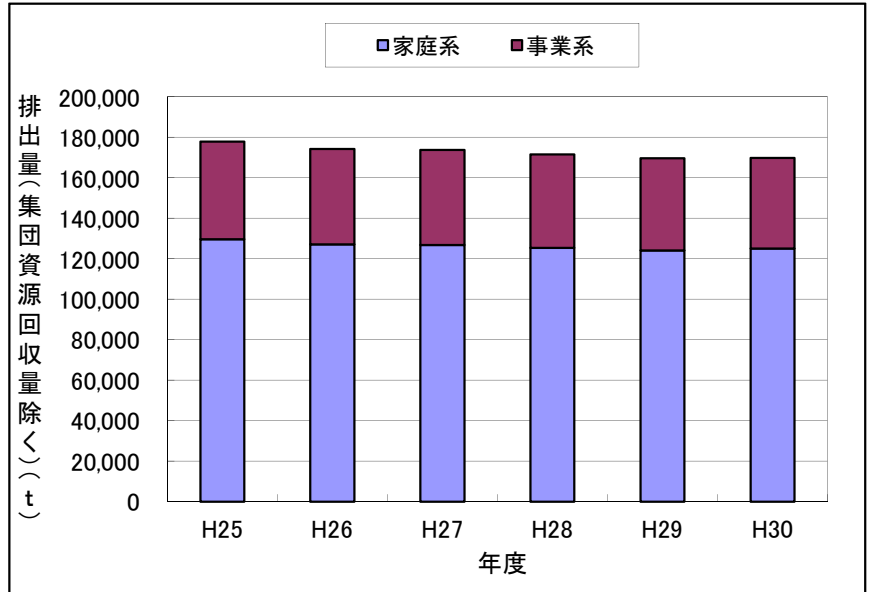


表3 家庭系・事業系別総排出量の推移

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
家 庭 系	129,581	127,105	126,816	125,376	124,069	125,017
	-	98.1%	99.8%	98.9%	99.0%	100.8%
事 業 系	48,317	47,130	46,877	46,056	45,515	44,783
	-	97.5%	99.5%	98.2%	98.8%	98.4%

【下段は、対前年度比率】

※家庭系・事業系に災害廃棄物は含まない。

(4) 分別収集の推移

ア 一般ごみ

平成30年度は、対前年度比489 t (0.3%)の減少となった。内訳は、家庭系が251 t (0.3%)増加、事業系が740 t (1.6%)の減少となっている。

図4 一般ごみの推移

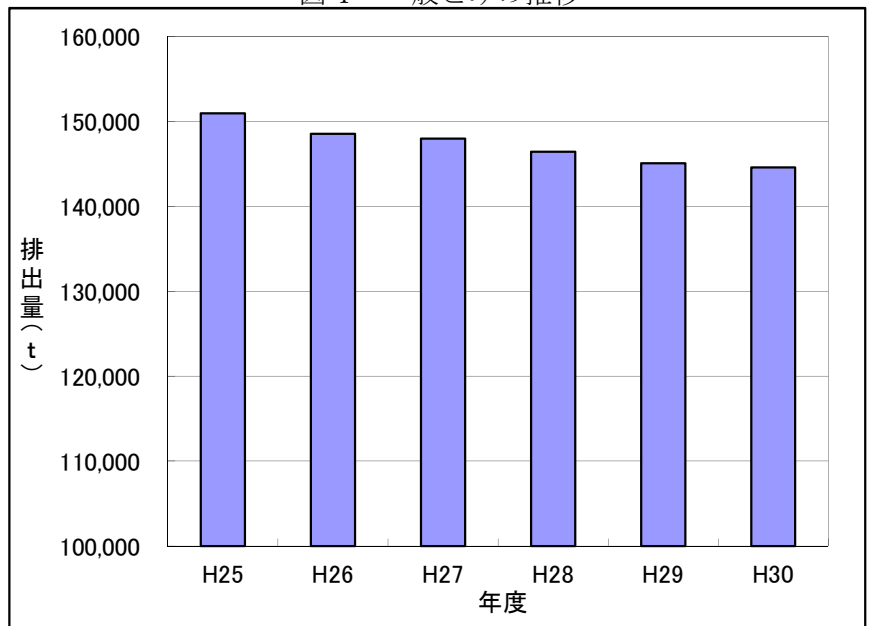


表4 一般ごみの推移

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
一 般 ご み	150,961	148,568	147,970	146,451	145,082	144,593
	-	98.4%	99.6%	99.0%	99.1%	99.7%

【下段は、対前年度比率】

※一般ごみに災害廃棄物は含まない。

イ 粗大ごみ

平成26年度は大幅に減少しているが、これは、平成26年4月から、消費税率が改訂されたこと及び、特定品目の粗大ごみ処理料を有料化したため、平成25年度に駆け込み排出したものと考えられる。

平成30年度は、対前年度比485t(8.0%)増加した。内訳は、家庭系粗大ごみが476t(7.9%)増加、事業系粗大ごみが9t(17.0%)増加となっている。

図5 粗大ごみの推移

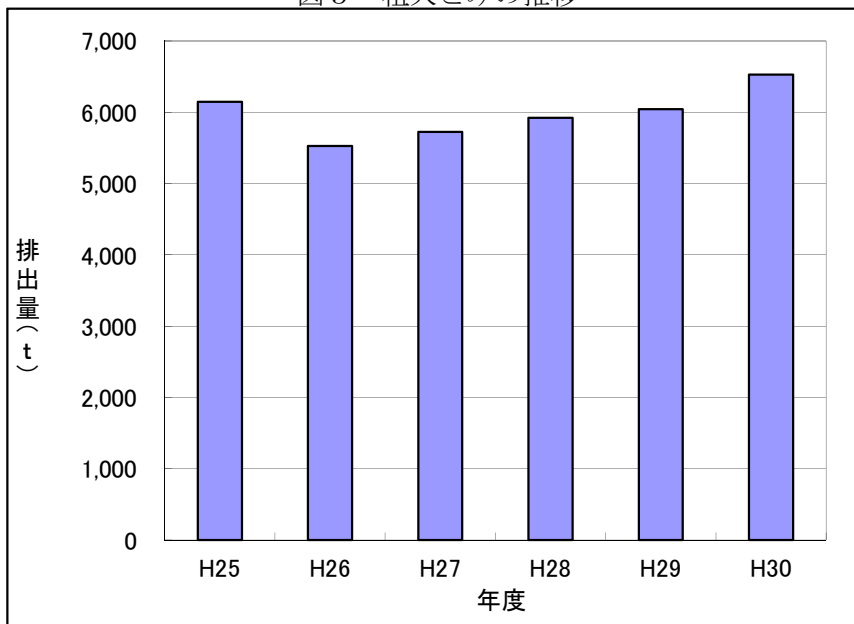


表5 粗大ごみの推移

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
粗 大 ご み	6,148	5,529	5,723	5,923	6,044	6,529
	-	89.9%	103.5%	103.5%	102.0%	108.0%

【下段は、対前年度比率】

※粗大ごみに災害廃棄物は含まない。

ウ 資源物

平成30年度は対前年比204t(1.1%)増加した。内訳は、家庭系資源物が205t(1.1%)増加、事業系資源物が1t(4.5%)減少となっている。

図6 資源物の推移

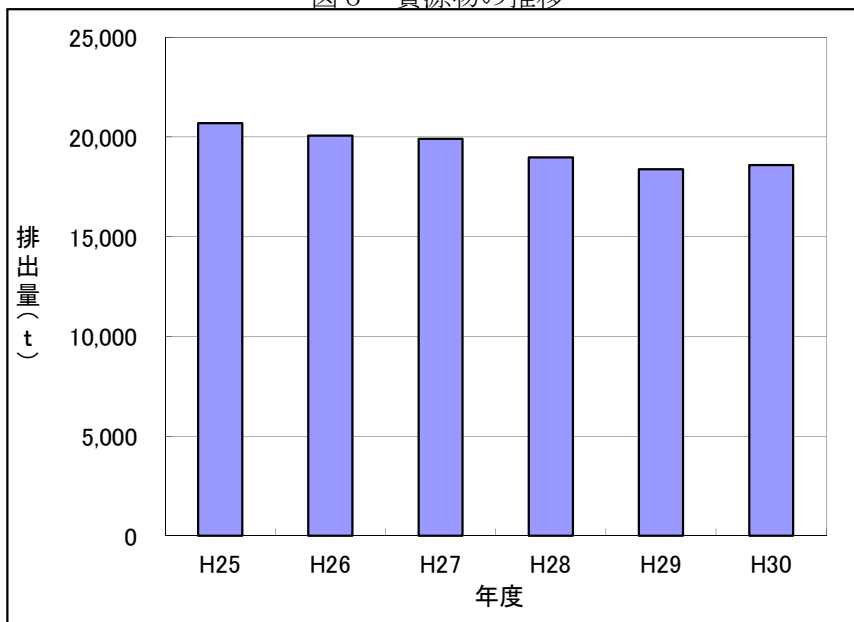


表6 資源物の推移

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
資 源 物	20,696	20,078	19,911	18,978	18,386	18,590
	-	97.0%	99.2%	95.3%	96.9%	101.1%

【下段は、対前年度比率】

※資源物に災害廃棄物は含まない。